



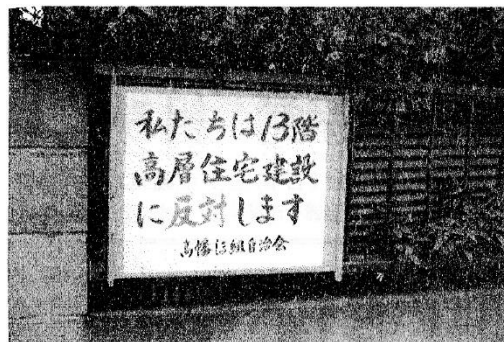
☎ 591-7376
akitojcp@livedoor.com

中野あきと事務所ニュース

みどり清流

2002年4月発行 第6号

日本共産党 中野あきと事務所 ☎599-3350
日野市南平7-6-72 発行責任者 小山敏正



医療用地
売却問題

どこが住民『合意』か

3月市議会一般質問
共産党・中谷議員が追及

「売却決定は8月末」と言ってきたが、7月には「広場廃止」の通知

売却方針の決定は「記者会見直前の8月末のこと」で、「だからそれ以前は発表できなかった」と、馬場市長は説明してきました。ところが中谷議員によれば、すでに昨年7月18日『広場閉鎖のお知らせ』と題する通知を、一部の広場利用団体に郵送していた事実があり、「8月末」という市長の説明は「全く事実と反する」ことが明らかにされました。

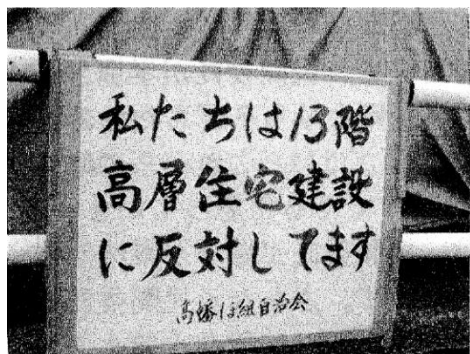
「住民の理解は得られた」の根拠とした「要望書」も実際はなかった

「白紙撤回の住民の要望は早い時期の話。その後の説明会で大方の理解は得られた」と、地元住民の合意について市長は言い、その根拠として「自治会関係者から売却後の街づくりについて、要望書が出た」説明しましたが、中谷議員は「2月13日の契約日までに、その根拠となる文書はどこからも出ていない」と指摘しました



「住民の合意がなければ開発はできない」と、市答弁

市が開発業者と締結した協定では、「日野市住みよいまちづくり要綱」の遵守がうたわれています。「要綱」では、ここで定める距離範囲の居住者の「同意」を得ない限り、市との事前協議も建築確認申請もできないことになっています。まちづくり推進部長の「おおむねの同意」などと言うあいまいな答弁に中谷議員は、「『要綱』には『おおむね』などという規定はない」と指摘し、「全部の同意をとるのが原則」「住民との話し合いがつくまで建築確認申請はやらないように、市としても最大の努力をする」という答弁を、助役も含めて引き出しました。市長も「『要綱』に基づき、更に厳しい対応をする」と答弁せざるを得ませんでした。



草の根から

一中、七生中の保護者を中心にわずかに2週間足らずで1万名を超えて寄せられた「学校給食民間委託の4月実施凍結を求める請願署名」。まじめな審議もせず不採択とした自民、公明などの与党勢力。これに対し『保護者の声に耳を傾けよ』と日本共産党、社民、生活者ネットを含めて『凍結』へ向けた共同が前進、予算についても学校給食民間委託経費の撤回を求める修正提案を共同提出。否決はされたものの議会に変化が起きた。ところが・・・

社民、生活者ネットは民間委託経費を君だけ予算原案にも賛成。まさに左こぼしで民間委託強行反対を唱えながら、右こぼしで民間委託実施賛成を唱える、本当におかしな態度。市長から市議選で応用もらった悲哀なのか・・・

オール与党とは何なのか、いかに害悪になっているか、正体見たりである。その害悪を打ち破るためにも市民の草の根の声、世論が大切。

一中、七生中で民間委託始まるも、これから子どもたちの立場で声をあげてゆくことが一層必要。引きつづきがんばります。

(中野あきと)

いま、何を優先すべきか

【今後に問題・市の新年度予算】

日本共産党、組み替え動議を提出・論戦

3月予算市議会で日本共産党市議団は、大不況のもと市民の暮らしと営業をまもる立場から、新年度予算について歳入・歳出合わせて18項目の予算組替え動議を市議会史上はじめて提出し、市民の切実な要求を明らかにして論戦行ないましたが、可決には至りませんでした。

緊急を要する小中学校の耐震工事、まだ十八校も残っているのに、わずか二校分。二百人近い保育園入園待ちの児童に対して、その解決策は三十九人分にとどまる。高齢者の命綱、健康管理手当は一人当たり一律二千円削減。

税収の落ち込みなどで市財政も確かに厳しい状況ですが、不況・リストラで苦しい市民生活に向き合うならば、いま、何を優先すべきかは明らかです。

可決された今度の予算で目を見張るのは、土地開発公社の所有する土地の買い戻し、国有地である浅川スポーツ広場取得のためなどの用地購入費が二十二億五千万円計上された上に、市議選でも争点となった総合体育館の基本設計委託料が千二百万円計上されていることです。

これらの計画を進めれば、一般財源だけでも毎年十億円を超える巨額の負担が必要で、今後四年間で九十億円に及ぶ起債（借金）が必要となります。しかも建設後の総合体育館の維持管理費は、毎年一億円を超える予定です。

障害者施設に都の予算が

日本共産党前都議会議員 村松みえ子

障害者共同作業所『くつろぎ』は、2年程前から市内の民家を借りて、対人関係がうまくいかず家に引きこもってしまった人を対象に、日中の居場所を提供したり、軽作業、昼食会、社会体験活動などを行ない、精神に障害を持っている方たちが、徐々に社会参加できるように援助しています。

こうした取組を支援する東京都の補助制度がありますが、その予算が限られているために、なかなか施策がすすまないのが実情です。「今年都が予算を付けてくれなければ『くつろぎ』はやっていけない」と、精神障害者共同作業所の家族会、職員など関係者は、東京都の担当者に何度も要請、ついにH14年度、予算を付けさせることができました。

この要請に2年がかりで参加してきた者として大変うれしく思っています。

署名へのご協力ありがとうございました！

一中・七生中の学校給食民間委託の凍結を求める署名へのご協力ありがとうございました！わずかの期間で1万名を越す署名が集まり市議会へ提出されました。残念ながら請願自体は不採択となりましたが、与党の一部の議員から「これだけの署名が集まるというのはやはり説明不足は否めないのではないか」「早急にすすめていいのか」などの意見が上がったり、社民、生活者ネットが採択の立場に立つなど議会に大きな衝撃をもたらしました。

予算は与党多数で可決され民間委託は実施されることになりましたが、**何よりも子どもたちの健康と成長にかかわる問題**だけに、これからの取り組みが本当に大切になってくると思っています。

お隣の八王子では、民間委託が様々な事情から途中でストップしています。さらなる民間委託の拡大を許さず、市が責任を持って行なう給食の復活へ今後とも力を尽くします。

短信

「あと少し、残念でしたね。でも相乗りなんておかしいですよ」と事務所に集金に来た業者の人。

七日投票の京都知事選は『民主府政をつくる会』の森川候補が前回得票より約三万票のばしての善戦で、獲得した票は昨年の参院選・比例の日本共産党得票の二倍を超えた。一方の相乗り陣営は同様の比較で半分程度に止まる結果となった。「いま、日本中で、古い腐った自民党政治からどうやって抜け出すか、国民みんな考えています」と、京都での不破議長の演説。一年前の小泉人気も今や昔、世論は大きく動き始めた

▽「調理従業者は全員集団調理経験一年以上、責任者は学校給食経験三年以上と、業者に厳しい注文を付けているから大丈夫」と市は説明。委託業者が行なった新聞折り込みの求人広告にはそんな条件は見当たらず、早くも出たほころび。「関知していなかった」ですむのか市教育委員会。

▽「医療用地売却は本当にひどいがんばって」「生活相談は申し込めば受けられるのですか」「事務所の住所も封筒に記入すべきでは」「宛て名を主人の名前でなく私にして」。市議選以降もニュースをお読みの方からのいろいろな電話が事務所に。これからもぜひ。